



# 一小だより

ホームページ  
QRコード→



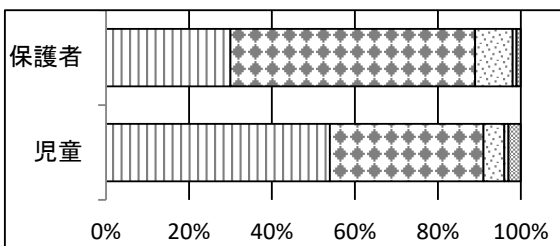
## 令和5年度 学校評価アンケートの結果について

令和5年度(令和5年11月実施)も保護者の皆様にアンケートをお願いしましたところ、お忙しい中、多くのご家庭からご回答いただき、ありがとうございました。

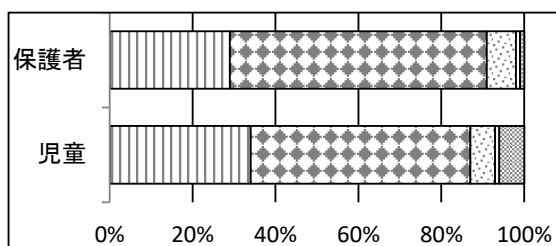
ご回答の中では多くの好意的、肯定的な評価をいただきました。また、評価が低かったものにつきましても原因を考え、次年度の課題としていきたいと思えます。なお、児童にも同内容のアンケートを実施して結果を比較しました。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。  
\* 回答率:67%(保護者アンケート)

とてもそう思う
  だいたいそう思う
  あまりそう思わない
  そう思わない
  わからない

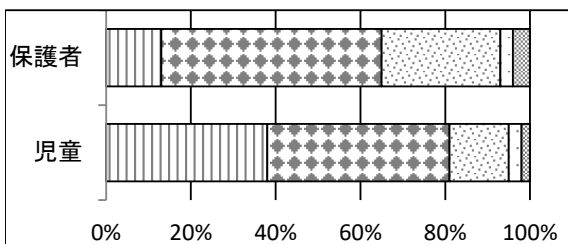
### 1 学校に行くのが「楽しい」と感じている。



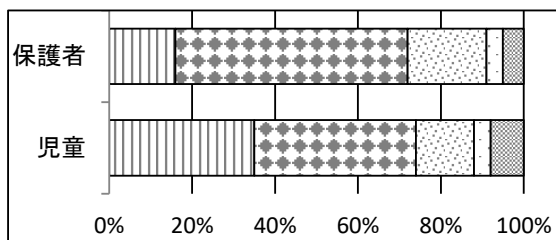
### 2 友達との関わりを通して思いやりをもったり相手の立場に立って考えたりできている。



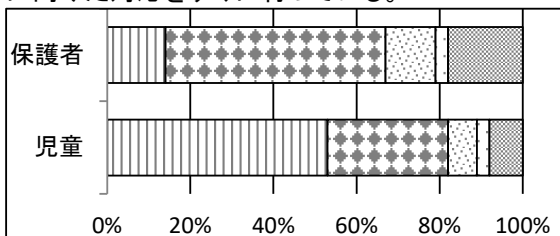
### 3 難しいことでも、粘り強く取り組んだり、失敗を恐れずに挑戦したりしようとしている。



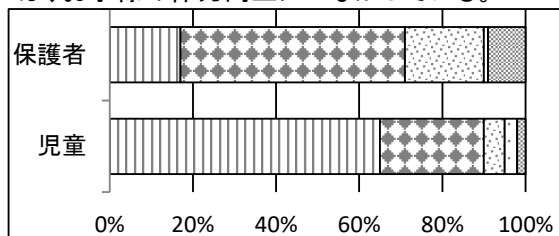
### 4 自分のよいところに気付いたり、自分のよさに自信をもったりしている。



### 5 学校は、子供同士のトラブル等に対して、解決に向けた対応をすぐに行っている。



### 6 学校の体育の授業やマラソン月間等の活動は、お子様の体力向上につながっている。



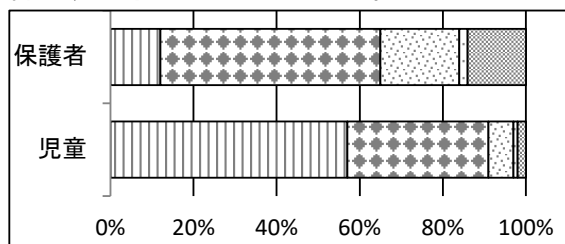
#### 考察

・(問1)について、学校に行くのが「楽しい」と肯定的な回答をした児童及び保護者が約9割でした。今後も「楽しい」と思えるような教育活動を工夫していきます。

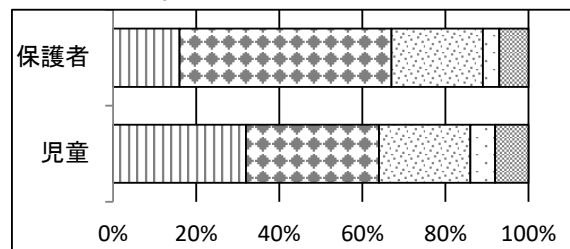
・(問3)について、「とてもそう思う」と回答した保護者が約1割、児童が約4割でした。保護者から見たらもう少し粘り強く取り組んでほしいと思う反面、児童は自分なりに粘り強く取り組んだり、果敢に挑戦したりしているのかもしれませんが。学校でも授業等を通して、もう少し努力すれば達成できそうな課題や機会を設けていきます。

・(問5)について、「そう思わない」等の回答をした児童が少しでも減少するように、普段の様子を細やかに観察したり、発見した問題を生活指導夕会等で共有したりして、学校全体で解決を図っていきます。

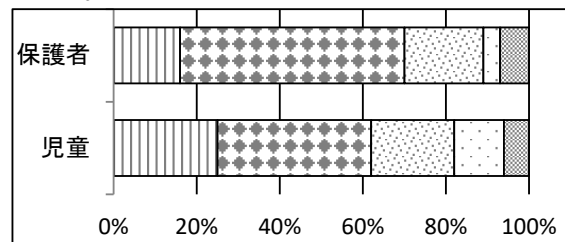
7 授業や朝学習での「できた」「分かった」「もっとやりたい」と思えるような指導の工夫は、学力や学習意欲の向上につながっている。



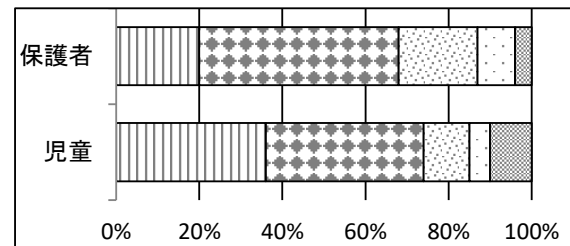
8 学習活動におけるICT機器や一人一台タブレット端末の活用は、学力や学習意欲の向上につながっている。



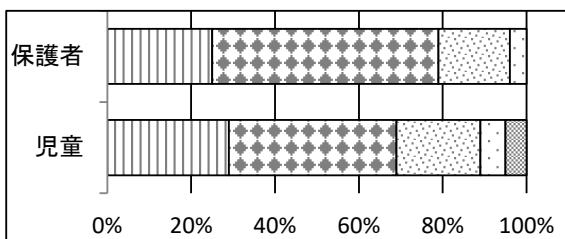
9 担任やALT(外国語講師)による英語の授業で、外国語や世界の文化に関心をもったり、英語を聞いたり話したりすることに興味をもって楽しんでいる。



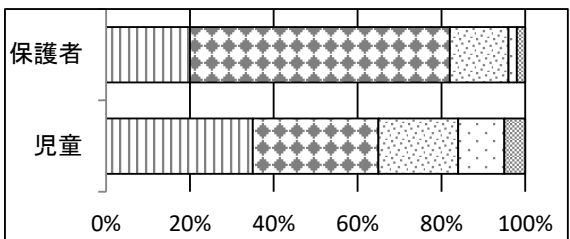
10 地域(東久留米市)や日本の自然・伝統・文化等についての学習で、地域や日本への親しみや関心をもつことができている。



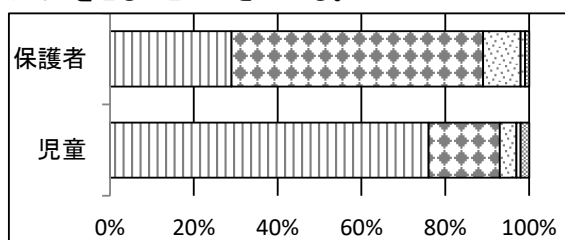
11 家で、早寝・早起き・朝ごはん等の規則正しい生活が定着している。



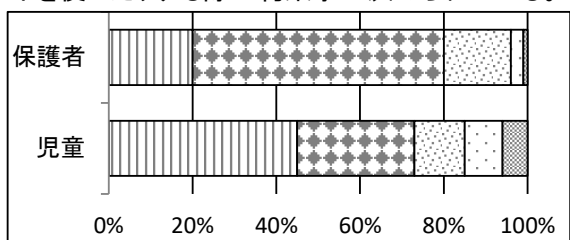
12 家で、宿題等の学習に時間を決めてやるなど計画的に取り組んでいる。



13 家で、学校での様子を話すなど、コミュニケーションをとることができている。



14 家で、テレビを見たり、ゲームをしたり、スマホを使ったりする際の約束事が決められている。



### 考察

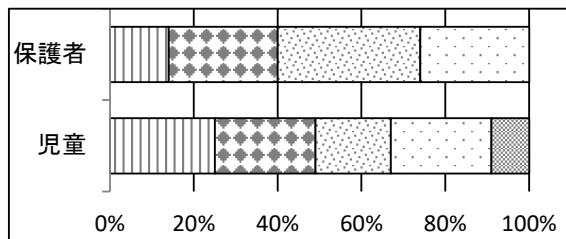
・(問8)について、肯定的な回答をした児童及び保護者は約6割強でした。主体的・対話的な学習につながるための効果的なタブレット端末の活用を工夫していきます。来年度はタブレット端末を活用した家庭学習等についても検討していきます。

・(問10)について、約7割強の児童が東久留米市や日本の「よさ」や「じまんでできること」が思いつくと回答しています。生活、社会、総合の地域の方との交流や河川の学習等から「よさ」や「じまんでできること」を発見したのかもしれませんが、今後、地域学習を教育課程に盛り込み、振り返り活動を充実させながら、学校、東久留米市、日本のよさに気づき、さらには世界に目を向けられるように指導を工夫していきます。

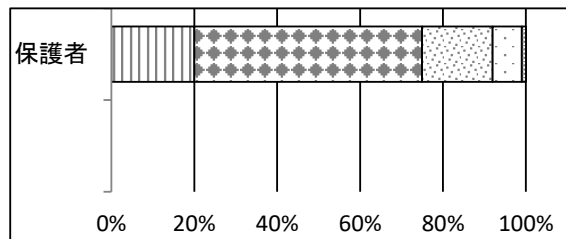
・(問12)について、「宿題等の学習を時間を決めてやるなど、計画的に取り組んでいますか」という問いに対して、約4割の児童がなかなかできていないと回答しています。保護者の協力を得ながら時間を決めて宿題をする等工夫していけるように支援していきます。

・(問13)について、約9割の児童及び保護者が肯定的な回答をしています。児童は発達段階が進むほど親との会話が希薄になる傾向がありますが、家族の大切さについて道徳の時間等を通して指導していきます。

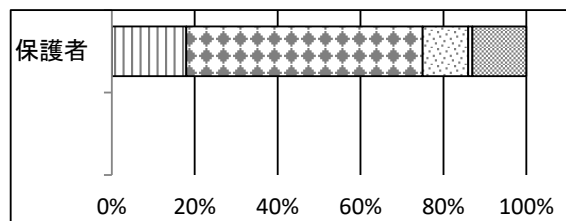
15 家で、読書を楽しんだり、進んで本を読んだりしている。(マンガは含めない)



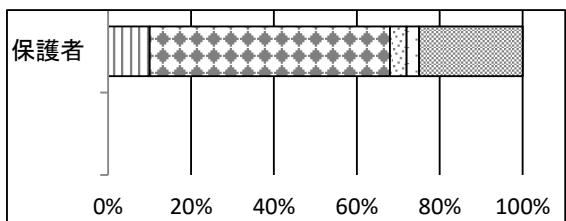
16 マチコミメールの配信や学校ホームページ等の活用によって、学校でのお子様の様子や緊急の情報を適切に得ることができている。



17 外部人材を招いた授業や地域の自然や施設の活用は、お子様の学習意欲の向上につながっている。



18 ポプラ教室、スクールカウンセラー、児童介助等と連携しながら、子供の特性に応じた指導に努めている。



#### 考察

・(問15)について、約6割の保護者が、家で児童がすすんで読書をしているとは思わないと回答しています。様々な調査によると読書量が多い児童・生徒は学力が高いという相関が明らかになっています。また、文科省は本を読むようにするための入り口として「読み聞かせ」を重視しています。今後は、学校での読書活動(読書月間の取組、中央図書館との連携等)を工夫していくとともに、積極的な読書を促していきます。

<いただいたご意見等について>

#### 1 学級経営

##### (1)宿題について

⇒宿題の出し方、タブレット端末を活用した家庭学習等については、校内で共通理解を図りながら効果的な方法を考えていきます。

##### (2)保護者への連絡について

⇒お願い事項や変更事項については、保護者が余裕をもって準備できるように、マチコミメール、連絡帳等なるべく事前にお知らせしていきます。

##### (3)児童理解及び児童指導について

⇒児童一人一人の特性や思いについて普段のかかわりから理解に努めるとともに、よさを認め、積極的に伸ばしていく指導、児童の人権を尊重した指導、いけないことをした際には自らの行為をしっかりと振り返らせる指導等をしていきます。

#### 2 学習指導

##### (1)教科書等を教室に置いて下校すること(置き勉強)について

⇒タブレット端末等の持ち帰りによる荷物負担軽減のため、原則、宿題で使用する教科書、教材等は持ち帰り、それ以外は教室に置いて下校しても構いません。

##### (2)タブレット端末を活用した授業について

⇒朝のタブレットタイム、授業、家庭学習等で更なる効果的な活用方法を検討していきます。

#### 3 その他

##### (1)給食について

⇒1食分の塩分量の基準が定められており、学校給食はかなり薄味になっています。その分素材の味やだしの味が際立つように工夫していきます。

##### (2)情報発信について

⇒学校生活や給食の様子については、地域の方や未就学児の保護者等外部の方へも広く発信してお知らせしていきたいため、ホームページに掲載していきます。また、マチコミメールでも配信していきます。

\* 他にもいただいたご意見等については検討し、来年度に向けて改善を図っていきます。